

## 平成 28 年度 総合的な学習の時間の評価の観点

全体テーマ「住みたいまちプロジェクト～ふるさとの明日を創ろう～」

1年 Bridge I 社会を知る 2年 Bridge II 社会に関わる 3年 Bridge III 他と共に社会に参画する  
Information 情報活用能力を培う ・ Communication 人間関係力を身に付ける

資質・能力	観点別評価項目		具体的な評価項目
1. 知識・技能	課題解決のために必要な知識・技能を身に付けている。	①知識	活動において得た情報を、自分の課題と結び付けて理解している。
		②技能	情報収集やまとめ方、発表のスキルなどを身に付けている。
2. 思考・判断・表現	様々な見方・考え方を総合的に活用して、多様な角度から捉え、実社会や実生活と関連付けて考えたことを表現している。	①課題設定	問いをもち、課題を設定し、解決の方法や手順を考えながら、見通しをもって計画を立てている。
		②情報収集	適切な手段を選択し、情報を収集している。
		③整理・分析	課題にかかわる事実や関係を理解し、課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考えている。
		④まとめ・表現	相手や目的、意図に応じてわかりやすくまとめ、表現したり、学習の仕方や進め方を振り返ったりしている。
3. 主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的（協同的）に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、積極的に次の課題に取り組もうとしている。	①主体性	これまでの自分の経験や生活と比較したり、考えを深めたりしながら、課題解決に向けて向上心や探究心をもち、自分の思いを広げながら活動している。
		②協働（協同）性	活動を共にしたり、考えを共有したりすることで、友達の考えのよさに気づき、意見を取り入れ、よりよいものにしていこうとしている。
		③社会参画	地域の人の思いや願いや自分の体験から「住みたいまち」にするため、社会の形成者としての自覚をもち、積極的に社会活動へ参加しようとしている。